

9月定例会（企画：三菱電機株式会社）

◆日時：2019年9月5日（木）15:00 - 16:00

◆場所：三菱電機株式会社

東日本FAソリューションセンター

東京都台東区台東1-30-7 秋葉原アイマークビル1階

<https://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/jpsup/fas/east/index.html>

◆内容 見学と説明

日進月歩で進化を続けている製造業において、その担い手である企業は、さまざまな悩みを抱えています。ビジネスの課題を解決する新しい知恵や技術はないか。さらなる効率化のために必要なノウハウとは何か。いま描いているビジョンを、本当に実現できるのか。私たち三菱電機は、そんな想いに応えるために、2018年7月、そのひとつの答えとなる場所をつくりました。

◆当日の写真







◆開催関係者への礼状

三菱電機株式会社

原田公一郎様、村岡一成様、吉田修司様

写：運営委員各位

同志社大学理工学部 三木です。

過日、9月5日には貴社の東日本F Aソリューションセンターを見学させていただき、大変興味深いお話を聞くことができました。誠に有り難うございました。

当日は秋葉原の秋葉原アイマークビルが駅にもっと近いのかと思っていたので、集合時刻ギリギリとなり、原田様をお待たせしました。秋葉原アイマークビルは清水建設が設計・施工し、2018年に竣工したとのこと、とても快適で上品で、地上12階、輻射空調とLED照明で、最新技術が組み込まれた大変素晴らしいビルでした。

その1階に貴社のソリューションセンターがあり、まず見せていただいたのが360度のパノラマスクリーンで映写された貴社のF Aソリューションに関する紹介映像でした。案内してくださった女性の紹介の後、1台のF Aロボットが動き出し、それとともに、パノラマスクリーンに貴社のF A関連製品や、名古屋での完全自動化工場の紹介等、最初のアナウンスで「ご気分が悪くなられた方は仰ってください」と述べられた理由が分かりました。まさに、iMAX映画同様、酔いそうになりました。しかし、工場のロボット化、全自動化を映像で拝見し、昨今の人手不足や残業なしの状況の中で、これは不可避だと感じました。

次に、種々のロボットが複雑な動作をするデモを見学させていただき、最先端のロボットが、従来は容易ではないと思われていた作業を容易にこなす動作には驚きました。電子基板

の組み立てと半田付け、弁当のおかずの詰め合わせ、2台のロボットが協調動作で機械部品を組み立てる動作など、話としては知っていても、間近で見ると貴社のロボットの高い技術が素晴らしいと感動しました。特に、歯車のかみ合わせを力覚センシングで得た振動データなどから、うまく組み立てるロボットや、精密部品の組み合わせを、学習機能を用いてA iが判断し、次の部品からは即座に最適な方法を採用するロボットなど、未来工場にはなくてはならない技術だと思いました。

名古屋の全自動工場の動画や写真を見ると、まさに未来工場を見ている感じであり、SF映画を見ている気分になりました。24時間休み無く働き、不具合を検知すると復旧作業まで自動化できること、大きな工場を一人か数名がいれば十分となり、人がもっと高度な、クリエイティブな仕事に向かうか、あるいは、ロボットでは柔軟には対処できない部分だけを行う役割を果たすのか、分かれ目に立っていると思いました。

今回の見学会では、貴社の顧客対応の場所を拝見させていただき、有り難うございました。このような見学で、オフィスで働く人が物作りの自動化の現場を知ること、オフィスの自動化や、オフィスですべきことは何なのかを考える非常に良い機会になったと思います。メーカーの仕事がどんどん細分化され、お互いの仕事内容が見えなくなっている現在では、デスクワークをする人も、企業が全体として取り組んでいるビジネスの全体像をできるだけ知り、細分化された仕事の最適化ではなく、他の部局の仕事も考え、全体を最適化する方向で考える機会も必要です。その意味で、今回の見学も、知的オフィス環境推進協議会として大きな意味があったと思っています。

皆様のご協力、ご高配に感謝を申し上げます。有り難うございました。